

北東アジアのエネルギー情勢と 日本の課題

北朝鮮の核廃棄問題、東シナ海の日中競争の資源開発、着々と進むサハリン開発など北東アジアのエネルギー情勢を俯瞰し、今後のとるべき日本の対応策をエネルギー安全保障、京都議定書と地球環境問題などの観点から解説する。

その対応策として、最初の課題は、日本国内を縦貫する国土幹線ガスパイプラインの建設である。この実現に向けた戦略を解説する。次いで、これのもたらす長期的な影響について、包括的に取りまとめる。

講演者 あさくらけんご
朝倉堅五氏(株式会社エコ&エナジー代表取締役)

講演者略歴

(株)三菱総合研究所に27年間勤務し、道路、河川・ダム、港湾、都市交通、空港など、公共インフラストラクチャの計画と評価、さらに建設技術開発と情報システム、環境アセスメント、防災計画等の幅広い分野で、調査研究スタッフ、また調査研究チームリーダーとして従事し、途中の1年間は(財)国際臨海開発研究センターに出向し、海外の港湾開発の事業化調査に従事した。

これらの経験を活用し、国土幹線ガスパイプライン及びアジア幹線ガスパイプラインという開発プロジェクトを総合的に推進することを目的とする、民間企業等から成る任意組織「広域天然ガスパイプライン研究会」「アジアパイプライン研究会」「北東アジアガス・パイプラインフォーラム」の創設と運営に参画した。

以上の経験から、エネルギー及び公共インフラの両分野で、国内及び海外において政府機関、民間企業、学識経験者に及ぶ広汎な人脈を形成し、情報収集やプロジェクト開発の基盤を構築し、現在(株)エコ&エナジー代表として、エネルギー、環境プロジェクトの事業化に従事している。

コーディネーター 浦谷 規(法政大学工学部経営工学科教授)

司会 柳井 浩氏(慶應義塾大学名誉教授、法政大学兼任講師)

日時 2005年 **10月31日**(月) 18:00 ~ 20:00

会場 法政大学ポアソナード・タワー **25階**
イノベーション・マネジメント研究センター セミナー室

参加費 無 料

定員 40名(先着順)

申込方法 氏名、所属、連絡先の郵便番号・住所・電話番号・FAX番号、E-mailアドレスを明記の上、郵便、FAXまたはE-mailで法政大学イノベーション・マネジメント研究センター宛にお申し込みください。締め切りは10月28日です。

個人情報の扱いは厳重に管理しております。当研究センターに関連するイベント開催等の通知を目的としており、それ以外の目的では使用していません。

申込先 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1

TEL:03(3264)9421

FAX:03(3264)4690

E-mail:cbir@i.hosei.ac.jp

URL:http://www.hosei.ac.jp/fujimi/riim

その他 お車でのご来場はご遠慮ください。